



令和4年4月4日

報道機関 各位

東北大学東北アジア研究センター

山形県村山地方の歴史を明らかにする —『近世・近代の村山地域』出版—

【発表のポイント】

- ・ 幕府や藩の支配機構を解明し、明治時代に山形県が成立するまでの政治体制を明らかにする書籍を出版しました。
- ・ 村山地域には、数多くの歴史資料（古文書）が現在まで伝えられているため、その積極的な活用、そして未来への継承を目指しています。

【概要】

江戸時代の出羽国村山郡（現在の山形県村山地方）は、幕府や多くの大名家（藩）が領地を分け合う「非領国」地域でした。東北大学東北アジア研究センターの荒武賢一郎教授と藤方博之助教らは、18・19世紀における出羽国村山郡を対象に、行政機構や地域運営の実態を明らかにし、書籍として出版しました。

編者のほか、出羽国・山形県の歴史研究に詳しい執筆者たちによって、幕府直轄地・米沢藩・佐倉藩の支配体制や、山林をめぐる訴訟の過程を検討すること、村落における文書管理の足跡を確認すること、幕末維新时期の地域政治とはどのようなものだったのか、といった新しい史実を発見しました。村山郡は、「非領国」地域という観点から、日本史研究全体で注目され、歴史資料の保存と継承についても熱心に取り組んできた経緯があります。本書は2022年1月に清文堂出版より発行されました。

【問い合わせ先】

東北大学東北アジア研究センター

担当 荒武賢一郎 野本禎司

電話 022-795-3140 022-795-3196

E-mail uehiro@grp.tohoku.ac.jp

【詳細】

1. 書誌情報

書名:近世・近代の村山地域—出羽国から山形県へ—

編者:荒武賢一郎(東北大学東北大学東北アジア研究センター教授)

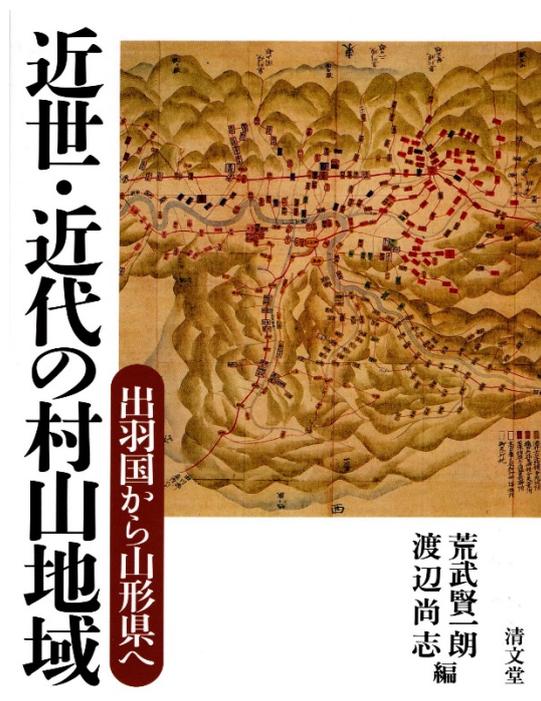
渡辺尚志(一橋大学名誉教授)

発行:清文堂出版

判型:A5判 上製本 267 ページ 本体価格 5,200 円 ISBN:978-4-7924-1492-4

清文堂出版ホームページ

<https://seibundo-pb.co.jp/index/ISBN978-4-7924-1492-4.html>



2. 目次

序章 (渡辺尚志)

第一章 幕府代官と村落社会(荒武賢一郎)

第二章 出羽国村山郡における米沢藩預所とその支配(宮田直樹)

第三章 近世後期佐倉藩出羽飛地領における年貢納入方式(藤方博之)

第四章 一九世紀における村と山(渡辺尚志)

第五章 近世・近代における村山郡の文書管理史研究序説(竹原万雄)

第六章 「山形県」の成立と地域社会の動向(山内励)

終章(荒武賢一郎)